

宮崎県旋網漁業組合視察研修

宮崎県旋網漁業組合（宇戸田実也組合長）は7月3日～5日の日程で視察研修を行った。目的は水揚げに係る省人化であり、先進地である石川県漁協西海支所を訪問した。西海支所では中型旋網が3ヶ統所属しており約半年の操業で旋網水揚げ高は631百万円（2022年度）。船ごとにフィッシュポンプと自動選別機を導入している。当日は5：30からの入船で3隻すべて水揚げがあり、サバ主体のアジ混じりであったため選別機もフル稼働していた。一通り水揚げから選別までを視察させていただき、漁協会議室にて西海支所の本多参事・瀬川部長より漁協の現状説明と機器導入までの経緯や問題点などを話していただいた。また、本県漁業者からも現在抱えている課題や質問がなされ有意義な研修となった。今後も先進地からのノウハウを吸収しながら、本県旋網漁業が抱える課題である選別の省力化と水揚げ時間の短縮について取り組んでいくこととしている。

- ・石川県漁協西海支所会議室にて

